百済王族伝説の証
師走祭り

（記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財、文化庁選択）

古より連綿と続く“師走祭り”は、百済王族伝説の証とされ、１３００年余もかたくなに守り継がれてきた。

９０キロメートルを隔てた美郷町南郷の神門神社と木城町の比木神社が合同で斎行する極めて特異な形式の祭りであり、異国の地で離ればなれに祀られている百済王族の親子（神門神社に祀られる父禎嘉王と比木神社に祀られる長男福智王）が年に一度対面する。

御神幸が神門に到着する初日、夕闇がせまる時間になると、神門神社付近で約３０基のやぐらが天をも焦がさんばかりに燃え盛り、御神幸を迎える。その中を一行は感激の面持ちで神社本殿へと向かっていく。そして、オサラバまでの3日間、地域は百済伝説に彩られる。

本殿が国の重要文化財に指定されている神門神社には多数の宝物が保管されていた。百済王族伝説の信憑性を高めるこれらの宝物は西の正倉院に展示されている。

百済王族伝説と文化財

〈神門神社本殿〉 重要文化財、文化庁指定

神門神社は養老２年（７１８年）創建と伝えられ、禎嘉王を祭神としている。本殿は寛文元年（１６６１年）に建立された七間社流造の社殿であり、文化庁から重要文化財に指定されている。

〈神門神社の鏡鑑〉 宮崎県指定文化財

神門神社の宝物には百済王族の遺品と称される銅鏡や馬鈴、馬鐸などがある。特に宮崎県指定文化財である古来の銅鏡２４面の中には奈良正倉院の御物と同一品のものがある。これらの宝物は神門神社社務所に隣接する西の正倉院に展示されている。

〈塚の原古墳・ドンタロ塚〉 宮崎県指定文化財

百済が滅亡し、日本の畿内地方にのがれた王族は、さらに壬申の乱によって日向の国へとのがれてきた。追討軍との攻防戦で戦死したとされる禎嘉王の墓と伝えられているのが塚の原古墳である。また、ドンタロ塚は神門神社境内地山頂にあり、禎嘉王を助けた地元豪族の墓ともいわれる。ドンタロさんは百済王族を歓迎し、追討軍との戦いにも味方として加勢したといわれている。

１３００年の歴史が物語る

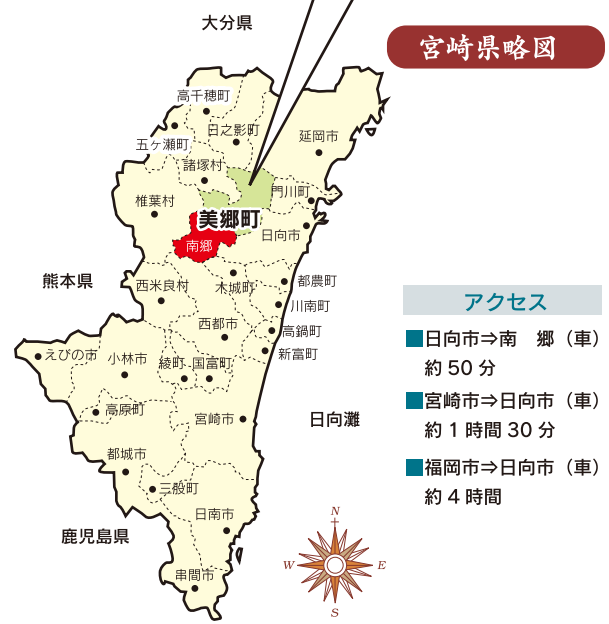
師走祭り

伝説の百済王族父子の絆

令和6年

1月19日（金）～21日（日）

百済の里・美郷町



アクセス

- 日向市⇒南　郷（車）約 50 分
- 宮崎市⇒日向市（車）約 1 時間 30 分
- 福岡市⇒日向市（車）約 4 時間

百済の里・美郷町

お問い合わせ先

美郷町役場南郷地域課
師走祭り実行委員会
〒883-0306宮崎県東臼杵郡美郷町南郷神門287
TEL.0982-59-1600　FAX.0982-59-1119
URL http://www.town.miyazaki-misato.lg.jp/

現在行われている「師走祭り」全行程概要

祭事番号	場所	巡業祭事	概要・解説	時間行程	距離
1日目　上りまし					
1	木城町比木神社	出発	比木神社に集まった神職以下18人が神門へ出発する。	AM 8:00	0km
2	日向市金ヶ浜	海でのみそぎ神事	神門の父王(禎嘉王)が漂着した金ヶ浜での神事、神職海中でみそぎ。	AM 8:50	
3	東郷町卸児	祭典・神楽	王族入村のおり一行の中に赤ちゃんが誕生したという塚「だごみや」で神事。	AM 11:10	
4	東郷町中水流	祭典・昼食	神門に近づいた比木の一行は、田中家で昼食をとり、神門の一行を待つ。	PM 1:00	83km
5	南郷小又吐	小丸川での神事・昼食	あぶら田渕にて出迎えの神門一行は昼食をとる。	AM 12:00	
6	東郷町中水流(伊佐賀神社)	祭典・神楽	次男華智王を祀る伊佐賀神社にて二社が合流、神事が行われる。(追打軍との戦いのあった古戦場)	PM 2:00	
7	南郷下名木(塚の原古墳)※禎嘉王の墓といわれる	祭典・神楽直会・野焼	伊佐賀で合流した一行は神門を先頭に、一路、王の墓といわれる「塚の原古墳」へ。神門の村人の出迎えを受け、式典と神楽、村人との直会のあと出発。敵の目をくらますため野に火を放ったという故事にのっとり野火、昔の道をたどる。	PM 3:00	
8	南郷米上祭事跡	一拝	古代の道に沿った祭事場に向かって一拝する。	PM 4:00	
9	南郷石田(衣渕・田原家)	みそぎ祭典	小丸川で一行は再度みそぎをする。神門神社の見えるこの位置から神社を遥拝するかたちで祭典が行われる。	PM 5:00	
10	南郷美郷南学園グラウンド内(塚跡地)	ご神体の笠とり	父王を祀る神門の社に入るにはここで比木の御神は笠を取らねばならない。昔塚のあった場所がその儀式の場所、ここからは昔の道を通る。	PM 5:55	7km
11	南郷小路前田	ごあいさつ迎火	行列は神門の地主権現へごあいさつ。高さ10m、約30基の迎え火の中を行列は神社へ向かう。	PM 6:00	
12	神社境内二番目の鳥居	鳥居神社	神門境内でのお着きの儀。	PM 7:00	
13	神社本殿	到着	夕やみの本殿にようやく到着。ご神体をおさめ、御小屋を清めて一日が終わる。	PM 8:00	

※都合により、若干の時間等の変更が生じる場合があります。 □は祭りの見所!!

祭事番号	場所	巡業祭事	概要・解説	時間行程	距離
2日目　祭典・舞明かし					
14	神社本殿	ご神体・お衣替え神事	白い内衣型の上着、顔いっぱいの白マスク、神門、比木の両社の宮司だけが本殿に入る。	AM 10:30	
15	神社本殿	昼食神楽道具作り	お衣替えのあと夜神楽の道具準備。昼食(昔から餅のみと決まっている)	AM 12:00	
16	神社本殿	祭典	本殿にて祭典。	PM 2:00	
17	ドンタ口塚	ドンタ口祭将軍神社	王を助けた地元豪族ドンタ口さんへお礼といわれる祭り。太鼓のドンを合図に「オー」弓の将軍神楽。	PM 3:00	
18	山宮さま	神事・神楽	家畜、農事の神事神楽奉納。	PM 3:00	神社周辺での行事
19	小丸川岸	洗濯行事	王の衣類を洗濯したという故事にならう。	PM 4:00	
20	小丸川岸	川原で野焼	川の土手一面の枯草に火を放つ。	PM 4:00	
21	石塚	川原から石塚へ	神職伶人、氏子みな石2個を川原より拾い石塚へ運ぶ。何百年も続く行事、石が増えない石塚。	PM 4:00	
22	神社本殿	社殿を3回まわる	社殿を静かに3回左回りし、石段を下り、石の鳥居で引き返すデモンストレーション。	PM 5:00	
23	境内地(御神屋)	夜神楽	夜神楽(高鍋神楽)18番。優美、優雅なものから、ユーモラス、エロチックなものまで多彩である。神楽御神屋は笹竹葺き、3隅のいろり、ふるまわれる焼酎、神楽せり唄。	PM 7:00 ～ PM 12:00	
3日目　下りまし					
24	境内地	お別れ式	お別れ食事。神前の魚の塩焼きを箸でまわしながら食する儀式。	AM 10:30	神社周辺での行事
25	境内地	ヘグ口塗り	別れの悲しみを隠すためにヘグ口を塗ったといわれる。出発準備。	AM 11:00	
26	神社本殿	祭典	最後の祭典。	AM 11:30	
27	一本鳥居	お別れ行事	“くだりまし”比木神社が先頭に立ち、行列は動き出す。婦人たちは、炊事道具を手に見送る。横に3歩ずつ歩きながら「オサラバー」。	AM 11:30	1km
28	美郷南学園グラウンド内(塚跡地)	両社お別れ笠つけ	笠取り塚にて最後のお別れがしめやかに行われ、御神体に笠を付け国道に出る。	AM 12:00	
29	米上	洗顔	塗られたヘグ口を米上集落の当番の家で落とし、茶を一服する。そのまま一路比木へ。	AM 12:00	